八尾をどっぷり楽しむ環境情報マガジン

環境アニメイティッドやお

河内の風

いきいきハ尾環境フェスティバル **特集号**

2014年12月No.114

環境アニメイティッドやおは、八尾市内で環境問題に取り組んでいる市民・市民団体・企業・教育機関などを応援するための協議会です。

アニメイティッドやお　検索

いきいきハ尾 環境フェスティバル

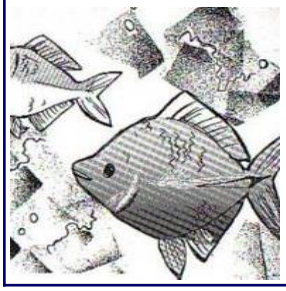
ハ尾から未来に気軽にE～COとしませんか

第1部 アリオ八尾

大気や水のことなど身近な環境を楽しく啓発

第2部 経法大 花岡キャンパス

高安の里の自然再生と地域の活性化を考える



第1部 西武八尾店

地球戦士ゼロスと八尾のゆるきゃら共演！

環境アニメイティッドやお　広報委員会　発行

イベント概要

未来にE（エ）～CO（コ）としませんか？ いきいき八尾環境フェスティバル2014

いきいき八尾環境フェスティバル2014は、第１部が10月26日（日）に西武八尾店（メイン会場）とアリオ八尾において、第２部は11月９日（日）に大阪経済法科大学花岡キャンパスを会場に開催されました。参加者は合わせて16,000名を超えました。

10月26日の第１部は、晴天に恵まれ、西武ホールを中心にした８階フロアにおける各イベント・ブース、及び屋上のフード・コーナーは、開始とともに人、人、人であふれるという盛況ぶりでした。ステージでのメインイベントのひとつは毎年恒例となった地球戦士ゼロス・ショー。ゼロスが環境汚染の悪者と戦うという環境保全の小劇が30分以上にわたって繰り広げられ、200人近くの子どもと大人の来場者がありました。

フェスティバルに八尾らしさ

これまでと同じく学生が事務局を担い、コンセント抜きゲームなど、子ども向けの企画は好評でした。今回は環境アニメイティッドやおの日常的な取組みを展示し、八尾ふるさと歴史楽校、学校園での環境配慮の取組み、広報活動などにも参加者が関心を寄せていました。

アリオ八尾でも、エコカーの展示や下水道ツマラナイ実験などが行われ、多くの来客が楽しんでいました。メイン会場はステージでの音楽祭とともに最後まで賑わい、学生および参加者による「みんなで河内音頭」が締めくくりとなりました。

大盛況

自然や生き物と暮らしとの関わり

11月９日の第２部は、あいにく３年連続の雨でした。それでも、これまた恒例となっている大阪経済法科大学のふれあい池でのドビ流しに参加者の多くが目を見張っていました。今年はニッポンバラタナゴが３万匹ほど繁殖していました。

河内木綿の綿繰り、藍染体験、ネイチャークラフト、郷土料理の出店、また「高安の里の自然再生」を考えるシンポジウムの開催など、自然や生き物と暮らしとの関わりを体感し、考える貴重な環境イベントになりました。

（広報委員　東郷 久・株式会社庭樹園　野口 よしのさん）

いきいき音楽会

今年で７回目となるこの音楽会も、このフェスティバルの恒例企画として、西武ホール会場を大いに盛り上げてくれました。

曙川東地区講念佛踊り保存子ども教室の子どもたちの舞台のあと、山本高校和太鼓部の「獅子奮迅」の迫力ある演奏、山本高校アコースティックギター部の３ユニットの楽しい歌声、小編成ながら素敵な演奏で盛り上げてくれた八尾北高校吹奏楽部の「嵐メドレー」、そして、八尾高校ギター部の懐かしい「栄光の架橋」、最後は、八尾高校吹奏楽部の力強く密度の濃い「銀河鉄道999～宇宙戦艦ヤマト」と、それぞれの持ち味が存分に発揮された、あっという間の２時間でした。

熱心に演奏する地元高校生に、ご来場いただいた方々も盛大な拍手で応援してくださいました。

（塚口 倫生さん）

学生企画

今年も学生ならではの、八尾ならではの企画が盛りだくさん！

第1部 西武 八尾店

集まれ、ゆるキャラ！ヒーローショー

当日、ゼロスショーは前年に続き子どもたちに大人気でした。今年度は初の試みで、八尾市のゆるキャラとのコラボレーションを行い、環境に関するクイズも同時開催しました。ショーを見て楽しんでもらうだけではなく参加型のクイズにより、子どもたちが環境のことを学ぶためのよい機会になりました。

（学生事務局　中来田 拓哉）

▲八尾市のゆるキャラと地球戦士ゼロス

▲参加者やゼロス、ゆるキャラもみんなで河内音頭

みんなで河内音頭！

私が河内音頭の企画を担当した理由は、踊る楽しさ、そして地域の方たちと踊ることによる一体感をお客さんに感じて頂きたかったためです。

どうすればお客さんが楽しみながら踊っていただけるか当日まで悩みましたが、本番でお客さんが楽しそうに踊っているところを見て、本当にこの企画を担当してよかったなと心から思いました。

（学生事務局　潟山 真依）

巨大塗り絵パズル

巨大塗り絵パズルは八尾にまつわる建築物や、ゆるキャラたちの塗り絵をしながら八尾をもっと知ってもらおうという企画です。当日はたくさんの子どもたちが塗り絵をしてくれました。

子どもたちに八尾に関するキャラクターや建築物の説明をすると『知らなかった』と言って、八尾のことを新しく知ってもらえました。家族揃って塗り絵をして下さっている姿もあり、参加されたみなさまは、閉会時間まで塗り絵を楽しんでくれました。　（学生事務局　広谷 さら）

▲塗り絵パズルのピース

コンセント抜きゲーム

「子どもたちに体を動かして体験してもらうECO」を念頭にイメージしてきました。コンセントを抜くことで待機電力を削減でき、ECOに繋がることから、家の中をイメージして企画のブースを作りました。子どもたちが楽しく遊んでくれて良かったです。特に、景品など関係なく何回も体験してくれた子どもたちが印象的でした。

（学生事務局　久利 夢美人）

▲コンセント抜きゲーム

▲冒険ラリー

さがせ！ようかい！冒険ラリー

この企画は、西武八尾店内を歩き回るようかい（の格好をした人）を探し出し、そこで出題される環境問題のクイズに答え、スタンプを集めていくというものでした。

企画の誕生からルールはどうするのか、景品はどうするのか等、学生事務局の中で綿密に話し合いました。その後スタンプカードの作成や飾り付けなど行い、フェスティバル当日を迎えました。

準備の過程で少しでも不安をなくしていくように努力し、参加者を楽しませるつもりではいましたが、実際のところ少し心配でした。しかし、当日、自分自身が想像していた以上の参加者と子どもたちの笑顔が会場中にありました。参加者がようかいを探し、スタンプを一生懸命集めている楽しそうな姿を見て、素直に、やってよかったなと思いました。学生事務局として活動し、今までにない体験ができ、私自身も楽しかったです。

（学生事務局　加藤 智子）

企業出展

第1部 西武 八尾店

ものづくりのまち　やお
「メイド・イン・八尾」が いっぱい！

皆さんはご存知でしたでしょうか？八尾市は、昔から「ものづくり文化」が盛んな地域ですが、今では「製造品出荷額等」が大阪市、堺市に次ぐ、大阪府下第３位となっています。

八尾市のものづくりの特徴として部品の製造や加工が中心であるため、一般の人々の目に触れる機会は少ないですが、実は、私たちの日常生活は、たくさんの「メイド・イン・八尾」によって支えられています。

今回の「いきいき八尾環境フェスティバル」では、そんな八尾のものづくりの魅力を、少しでも感じてもらおうと市内企業や大阪KES環境機構（O-KES）の取組みなどを紹介するブースを出展しました。

メロディアン㈱様のブースでは、製品の試飲や販売、O-KESのパネル展示では、中小企業が環境に配慮した事業活動に取り組みやすくなるよう考案された仕組みの説明が行われました。

▲メイド・イン・八尾の商品
produced by シーズクリエイト

これからも、様々な企業活動が目に触れる機会を増やしていくことで、地域の皆さまと事業者が一緒になって八尾の環境を考えていく、そんな光景があふれる八尾を創っていければと思います。

（株式会社シーズ・クリエイト　枡谷 郷史さん）

地産地消

第1部 西武 八尾店

パッカーくん焼き 早々に完売！

八尾の環境啓発キャラクター「パッカーくん」をかたどった「パッカーくん焼き」が今年のフェスティバルにも登場し、人気が爆発しました。今年はお昼過ぎにはすべて完売してしまうほどの盛況ぶりでした。

パッカーくん焼きは、普通のたい焼きとは一味違います。生地には地元でとれた小松菜を練りこんでおり、ほんのり緑色になっています。パッカーくんの色に近づけるだけでなく、地産地消の観点からもエコでおいしい食べ物になっています。

また、焼き台の製作には、世界に誇る八尾のものづくりの力が結集されており、焼き始めから食べ終わりまで八尾を感じることができます。

これからも様々なイベントに登場する予定ですので、ぜひご賞味ください。　（事務局）

好評でした！ 八尾の郷土食 「じゃこ豆」

今年は第１部・第２部に出店しました。いつもの枝豆蒸しパンに加えて、第２部には大豆と「ドビ流し」の副産物のフナやモロコ、川エビ等の小魚をじっくり煮込んだ、八尾の郷土食「じゃこ豆」を出店しました。残念ながら、川エビやモロコ等の小魚が少量しか獲れなかった関係で試食程度しか作ることができませんでした。

しかし皆さんから「美味しい！白いご飯がほしい！」といわれたことから、その昔、冷蔵庫がない時代でも農繁期の保存食（ご飯のおかず、お酒のあて、お茶漬けなど）として２週間ぐらいは美味しく食べる事が出来たということだったので、なるほどと納得しました。栄養価の高い食べ物として、現在も受け継がれている農家もあるそうです。

食を通じて「地域の知恵に学ぶ」エコクッキングの大切さを痛感しました。

（NPO法人みち　石黒 美喜さん）

環境アニメ出展

日々の取組みを発信

西武ホールでは、市民のみなさんに「環境アニメイティッドやお」の活動を知っていただくために、八尾ふるさと歴史楽校、学校園での環境配慮の取組み、広報活動などの様子をパネルで展示しました。

「学校園での環境配慮の取組み」では、表彰された幼稚園の関係者が、園児を連れて見に来られていました。「八尾ふるさと歴史楽校」のパネルの前では、今までに開催された時の写真や資料を見てメモを取りながら熱心に見ておられる方たちがいらっしゃいました。これまでの資料をまとめたものをいつでも見られるようにしてほしいという要望もありました。

さまざまな活動が身近に感じていただけるようになってきました。（広報委員　奥本 陽子）

ネイチャークラフト

学生と強力タッグで大賑わい

第1部 西武 八尾店

今回は、展示方法に写真やパネル展示、スライドショーなど新しい取組みがあったので、自然楽校からはスライドショーを作成し、多くの方たちに見ていただきました。

第１部は、自然楽校のクラフト指導者の他に、学生３名の応援があり、クラフトに取組んでもらいました。一日中クラフトの参加者があり充実した取組みができました。学生事務局の人数が昨年から倍増となり、昨年以上にフェスティバルへの意気込みがあったように感じました。

第２部は３年連続の雨でしたので参加が少なかったですが、ゆったりとした時間の中でクラフトをすることができました。

（森林インストラクター阪奈会　齊藤 侊三さん）

アクトランド八尾

大自然への入り口

アクトランドYAO紹介ブースでは、施設紹介の他に八尾の大自然を感じてもらおうとアクトランドの森で見つかったイノシシの頭骨や「エビフライ」と呼ばれているリスが松ぼっくりを食べた痕跡などを展示し、それらを自由に触っていただき楽しんでもらいました。

また、どんぐりにトトロのようなイラストを描いた「どんぐりトトロ」も展示し、訪れた来場者にプレゼントしました。

「八尾にこんな大きいイノシシが本当にいてるの？」「アクトランドってこんなに自然豊かな場所やったんや！」と、子どもだけでなく大人にも新鮮な驚きだったようで、自然（環境）への興味を持ってもらうきっかけになったのではないかと感じています。

（アクトランドYAO　宮嶋 啓太さん）

グラウンドワーク八尾

リサイクル体験

第1部 西武 八尾店

リサイクルセンターの施設案内のパネル展示では、分別ごみのリサイクルの仕組みや学習プラザの取組みの紹介を行いました。またブースでの紙すきハガキ作り教室では牛乳パックのリサイクルを体験していただきました。

この日は天候も良く、朝早くから多数の家族連れや子どもたちのご参加を頂き合計258名の方に紙すきハガキ作りを体験していただきました。

また、学習プラザ「めぐる」では紙すきハガキ作りの他に「布ぞうり作り教室」や「帯びバッグ教室」などのリサイクルを目的とした教室や、フリーマーケットの出店者、環境の勉強ができる環境講座の参加者の募集やリサイクルセンター工場見学の受付も行っています。

（NPO法人グラウンドワーク八尾　小林 裕五さん）

第１部
アリオ
八尾

トヨタ・ダイハツオートモールが初参加
大阪ガス・関西電力も出展

アリオ八尾会場では、八尾市グリーン配送推進協議会が中心となり実施しました。

今年は新たにトヨタ・ダイハツオートモールが加わり、大阪ガスや関西電力もご出展いただきました。

企画内容としては、「エコカーの展示」、「エコドライブシミュレーターによる体験」、「八尾の水辺生物の展示」、「パックテストによる川の水質を比べてもらう企画」、「下水道ツマラナイ実験」、「下水道漫才」など盛りだくさんでした。

▲エコドライブシミュレーター体験

トヨタ・ダイハツオートモールでは、いきいき八尾環境フェスティバルの前日よりエコウィークと題し、環境に関するイベントを11月２日まで開催されました。

この中では、近日発売される燃料自動車等の展示や開発者によるトークショーなど様々な企画が用意され、いきいき八尾環境フェスティバル当日においても企画盛りだくさんで、大盛況でした。

乗り物や水という、より身近なテーマに対して楽しみながら「未来にE～COと」を考えていただけるフェスティバルとなりました。

（事務局）

▲大阪ガス（株）出展

▲下水道ツマラナイ実験

アリオモール内の店舗を回りながら環境に関するクイズの文字を集め、回答するといった「わくわくアリオ探検クイズ」も大盛況でした。

クイズの正解者にはクリスピークリームドーナツのプレゼントをもらっている人もいて、参加者の皆様は楽しみながら問題を解いている様子でした。

▲トヨタ・ダイハツオートモール

▲アリオ八尾交通広場

ドビ流し

第2部 経法大 花岡キャンパス

ニッポンバラタナゴ 来年こそは、めざせ１０万匹！

今年も朝から雨模様でした。雨男は誰だろう。昨年の11月に腐葉土を含む山土を投入したので、かなりの数のドブガイが繁殖しているはずでした。また、ニッポンバラタナゴも10万匹近くは繁殖していると予想していました。

しかし、１回目の底引き網で集まった漁獲量を遠目で観察していると非常に少なく感じたので、タモロコの影響が出たのかなと直感しました。タモロコはタナゴの稚魚を捕食するのです。

一方、ドブガイも予想に反して、採集個体は約1000個体で、あまり繁殖していないように思いました。しかし、最終的に区画法や標識再捕法で個体数を推定すると、ニッポンバラタナゴは約31000尾、ドブガイは約4200個体で、まずまずうまく繁殖していることが分かり、ホッとしました。来年こそは10万匹の大台に乗せたいですね。

（NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会　加納 義彦さん）

シンポジウム

第2部 経法大 花岡キャンパス

高安の里の自然再生と地域の活性化

大阪経済法科大学地域総合研究所主催の「高安の里の自然再生と地域の活性化」をテーマにシンポジウムを開催しました。

はじめに、豊岡市コウノトリ共生課長の三笠孔子様から、『コウノトリと共に生きるまちづくり』をテーマに、絶滅危惧種の保全と地域の活性化を成功させている先行事例の講演をしていただきました。

豊岡では高安の場合と非常によく似た活動が実施されているので、八尾市の職員の皆様方もこの先行事例について、真剣に聞かれていたことが印象的でした。

高安の魅力づくりとして、ニッポンバラタナゴと河内木綿、さらには千塚があることを話すと、三笠さんも大いに興味を示され、高安地域の活性化の可能性を感じられたようです。

自然再生とは、地域住民の暮らしの中にある歴史と文化および自然を次世代に継承していくことであると確信しました。

（NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会　加納 義彦さん）

綿繰りの里 高安

第2部 経法大 花岡キャンパス

毎年、大阪経済法科大学花岡キャンパスのクロノス１階入口で、河内木綿の綿繰り・糸紡ぎ体験で参加させていただいています。

江戸時代、河内国は綿作りや木綿織りが盛んで、特に、花岡キャンパスや資料館のある高安山麓地域（山の根）が盛んでした。その綿から織られた木綿は、「山根木綿」として京都で評判であると、かの有名な貝原益軒も『南遊紀行』（１６８９年刊）でその様子を伝えています。

近年では、資料館だけでなく、大阪経済法科大学をはじめ、高安地域でも綿作りが広がりをみせています。かつてのような一面綿畑の高安の里が見られるのも夢ではないかもしれませんね。

（八尾市立歴史民俗資料館　李 熙連伊さん）

10回目のフェスティバルを終えて

今年は2004年12月に「環境アニメイティッドやお」が発足して10周年になります。

翌年の2005年10月からこのフェスティバルは始まりました。

大阪経済法科大学の花岡キャンパスで７年間、一昨年から近鉄八尾駅前という市内でもっとも利便性の高いところを利用できるようになりました。昨年より第１部として西武八尾店とアリオ八尾、第２部として花岡キャンパス会場を設けています。

第１部では、子どもたちを中心に家族みんなで環境問題を考えながら、さまざまに興じていただき、アニメイティッドやおの諸活動にも親しんでいただこうというものです。

第２部では、高安山のふもとの自然環境にふれ、希少生物のニッポンバラタナゴ保護の取組みや河内木綿に触れていただき、貴重な高安山一帯の自然環境・歴史的環境の保護・保全活動を直接体験していただこうというものです。

この催しの実現のため、ご協力頂いた各団体・個人の皆さまに厚くお礼を申し上げるとともに、今後も参加者の皆さまが心から楽しんでくれることを望んでいます。（代表　橋本 久）

活動情報

ご参加をお待ちしています

第1日曜日 参加者募集
高安山
自然再生定期活動

第1金曜日
広報紙印刷
＆広報委員会
※変動する場合があります。

第3土曜日 参加者募集
八尾ふるさと
歴史楽校

第4月曜日
FMちゃおの放送
「情報プラザやお」

第4木曜日 参加者募集
楽音寺
森林整備活動

第4土曜日 参加者募集
高安の森
自然楽校

ホームページあります。
ホームページから河内の風を閲覧できます。

http://www.eco-ani-yao.org/

アニメイティッドやお　検索

「河内の風」の置いている所

近鉄八尾駅・河内山本駅・久宝寺口駅・Potager・八尾市内各出張所
八尾図書館・山本図書館・志紀図書館・プリズムホール・市立病院・
かがやき・ウイング・学習プラザ
歴史民俗資料館・屋内プール・
まちなみセンター・サポートやお・
教育サポートセンター・ＦＭちゃお・
つどい・みらい・福祉会館・
近畿労働金庫八尾支店・
大阪経済法科大学

ただいま、アニメイティッド会員募集中！

まずは、活動に参加してみてください。
いろんな人との出会いや情報交換ができます

年間会費：個人1,000円　市民団体2,000円
事業者5,000円　事業者団体10,000円

■　お問合せ先
環境アニメイティッドやお　事務局（八尾市環境保全課）
TEL　072－924－9359　FAX　072－924－0182
HP　http://www.eco-ani-yao.org/